

登録コード	A3Y61200	開講年度	2026				
授業科目	インターンシップ					担当教員	濱 渦 康 範
英文授業名							竹野 誠記・根本 和洋・福山 泰治郎・齋藤 勝晴
単位数	1	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 5 Aカリ						
	【2025年度以降カリキュラム対象】4.【協働力】 多様な価値観を理解し、他者との対話を通じて、課題に取り組むことができる。					学内の講義や実験・演習等で習得した知識や技術を、実社会でどう活かしてゆくべきかを考え、業務内容と照らし合わせながら、実践的応用能力や問題解決能力を養うことができる。この経験を大学生生活に活かすとともに、実社会に必要な基礎能力を養い、職業意識を形成することができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	・企業等が実施するインターンシップ実習（就業体験）に参加する。 ・30時間以上（5日間程度）の実習を履修（単位化）の対象とする。（オンラインインターンシップを除く） ・令和8年度に限り、農学部地域協創特別コース運営委員会が開講するPBLプログラムも対象となる（不定期開講）。詳細については、PBL参加説明会にて説明します。（PBL主担当教員 齋藤勝晴、竹田謙一）						
(5)授業計画	・原則として夏休み、春休み期間中とする。（通常授業と重ならなければ可） ・無給であること。費用は学生負担（交通費、宿泊費については実習先により異なる）。 ・成績評価の観点から、受講者の家族や親族が経営する会社（実習担当者が家族親族等）である場合は、履修（単位化）の対象外となる。 ・実習後、各自キャンパス情報システムから授業アンケート（振り返り）に回答する						
(6)自主学習の指針	受入先と十分に事前打合わせを行い、実習内容等について理解した上で臨む。						
(7)成績評価の基準	レポート内容（日誌・成果報告書・お礼状コピー）及び評価書（出欠遅刻早退・研修態度・理解力・実行力・協調性等）に基づいて評価する。 卓越している（90～100％）：上記の項目全ての内容が優れていて、教員を感心させるレベルにある かなり上にある（80～89％） やや上にある（70～79％） 水準にある（60～69％） 水準より下にある（59％未満）						
(8)事前事後学習の内容	事前学習 ・eALPS「インターンシップ参加届」>マナー講座を受講する。 ・なぜインターンシップに参加するのか、どのような経験を得たいのか、目的を明確にする。 ・ホームページ等を利用して、実習先の概要を調べる。 ・基本のビジネスマナーを押さえておく。 事後学習 ・「日誌（実習中）」「成果報告書」「お礼状」を作成する。 その他、実習先指定のレポート等があれば、提出期限内に実習先へ送付する。						
(9)テストやレポートの予定	レポート様式は、農学部ホームページ>在学生の方へ>在学生の各種手続き>インターンシップ受講の手続きからダウンロードし、A4で印刷する。 実習中 ・「インターンシップ日誌」を毎日作成し、受入先担当者に、コメントの記入を依頼する。 ・実習初日に受入先担当者に「評価書」の用紙をお渡しし、記入を依頼する。 実習後 ・速やかに「お礼状」を先方に送付（メール又は郵送）する。 ・「インターンシップ成果報告書」を作成する。 「日誌」「成果報告書」「評価書（厳封）」「お礼状の写し」をコース教務・学生委員に提出する。						
(10)成績評価の方法	レポート（日誌・成果報告書・お礼状コピー）及び評価書に基づいて総合評価する。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	学務グループ学生支援担当または所属コース教務・学生委員へ、質問・相談してください。						

(12)履修上の注意	・令和8年度「インターンシップの手引き」を確認し，不明点は，早めに学務に確認する。 ・履修希望者は，受入先決定後，学務グループ窓口に申し出て，履修方法及びレポートについて説明を受ける。 - 必ず実習前までに「受入先決定届（履修登録用）」を提出する。（事後の申請は不可） - 本授業は「受入先決定届」の提出をもって履修登録を行うため，履修登録期間中の履修登録は不要。 ・目的意識をしっかりと持ち，信州大学の看板を背負っていることを自覚して，真摯な態度でインターンシップに臨むこと。 ・学研災学研賠保険（または生協の保険）に加入中であること。 ・トラブル，事故等が起きた場合には，実習先担当者及び学務へ至急連絡すること。
【教科書】	特記なし
【参考書】	特記なし